

長野県立歴史館事業について

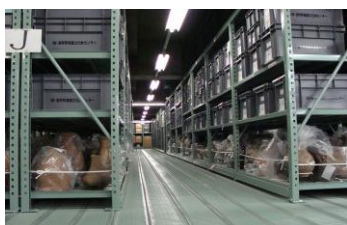
1 長野県立歴史館の概要

歴史館の役割は、考古資料及び文献史料を収集・整理・保存し、それらを調査研究して、その成果を展示・閲覧に供し、県民に公開普及することにより、長野県の歴史遺産を子孫に引き継ぐ活動を行うことにあります。

その活動を担う組織は下図のとおりであり、ほかに館全体の管理運営を担う管理部門があります。

施設は、展示のための常設展示室・企画展示室、講演会などのための講堂・研修室、考古資料の収蔵庫・保存修復室、文献史料を保存するための行政文書書庫、古文書書庫などから構成されています。

2 長野県立歴史館の組織と業務



3 長野県立歴史館の今後のあり方

歴史館は、平成6年の開館から17年が経過しましたが、博物館・公文書館としての使命を果たしつつ、時代の変化に応え、より多くの皆様の親しみやすい施設を目指してまいります。

平成24年度の主な事業

1 運営方針

長野県の歴史・文化の拠点として、考古資料、文献史料、その他の歴史資料及び長野県の公文書を収集、保存、調査研究し展示、閲覧等により県民に公開するとともに県民が楽しく利用できる諸事業を行い、もって県民の教養と文化振興の向上に寄与する。

2 事業計画の概要

(1) 収集・整理・保存

- ・本県に係る考古資料・文献史料等の歴史資料の収集・整理・保存
- ・長野県埋蔵文化財センター等が発掘した考古資料の科学分析・保存処理・整理・保存
- ・長野県の公文書の収集・整理・保存

(2) 調査研究

- ・昭和戦前の研究 満州移民と戦時ポスターを中心として
- ・千曲川流域の縄文土器の研究

(3) 史資料の公開・教育普及

① 展示の充実

a 常設展示（年間展示・展示替2回）

b 企画展示

- ・春季企画展「長野県の満洲移民 ー三つの大日向をたどるー」
- ・夏季展「戦争と宣伝 ー阿智村ポスターが語る ー」
- ・秋季企画展「縄文土器展」 前期：八ヶ岳山麓の名作 後期：千曲川流域、土器1万年の旅
- ・冬季展「愛娘の調度品ー姫君の婚礼道具からひな人形までー」

c 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2012」（共催事業）

d 埋蔵文化財センター速報展「長野県の遺跡発掘2013」（共催事業）

e ギャラリートーク及び解説の実施

② 歴史関係講座等の開催

- ・歴史館セミナー、やさしい信濃の歴史講座、考古学講座「古代信濃の王」
古文書講座〔初級・中級・上級〕

③ 研修会の実施

④ 関係機関との連携

- a 飯田市美術博物館連携講座、八十二文化財団共催講座、長野県カルチャーセンター連携講座
- b 長野県考古学会との連携
- c 信州近世史セミナー・信濃史学会との連携
- d 東京大学史料編纂所との共同研究、信州大学等との共同・連携

⑤ 刊行物の発行

- ・史資料目録・年報・研究紀要・ブックレット・歴史館たより等の発行

⑥ 体験学習及び歴史イベントの実施

(4) 閲覧・情報提供

- ① 収蔵資料の閲覧、レファレンス
- ② 歴史館HPを活用した情報提供

県立歴史館の利用状況

○入館者数(4月～9月分)

年 度	常 設 展	企 画 展	講 演 会・講 座	そ の 他	計
平成24年度	28,473 人	25,023 人	4,878 人	5,259 人	63,633 人
対前年度比	91.5%	107.1%	126.5%	131.3%	102.1%
平成23年度	31,106 人	23,366 人	3,857 人	4,005 人	62,334 人

(注) その他は、閲覧室利用者及び出前講座受講者数である。

○主な企画展の入館者数

(平成24年10月22日現在)

年 度	春 季 展	夏 季 展	秋 季 展	計
平成24年度	8,871 人(45 日)	5,209 人(33 日)	4,168 人(32 日)	18,248 人
平成23年度	8,901 人(32 日)	4,731 人(39 日)	6,164 人(44 日)	19,796 人

(注1) カッコ内の日数は、各企画展の開催日数である。

(注2) 平成24年度「秋季展」の開催日数は、前期及び後期合わせて76日間である。

○小学校の来館状況

・学校数

年 度	県 内				県 外	計
	北 信	東 信	中 信	南 信		
平成24年度	75 校	44 校	33 校	7 校	34 校	193 校
平成23年度	98 校	59 校	37 校	8 校	65 校	267 校
平成22年度	92 校	67 校	39 校	10 校	43 校	251 校

(注) 平成24年度は、4月から9月までの6か月分である。

・人 数

年 度	県 内				県 外	計
	北 信	東 信	中 信	南 信		
平成24年度	4,931 人	2,885 人	2,096 人	482 人	3,105 人	13,499 人
平成23年度	6,274 人	3,564 人	2,599 人	523 人	6,190 人	19,150 人
平成22年度	5,864 人	4,251 人	3,025 人	579 人	3,994 人	17,713 人

(注) 平成24年度は、4月から9月までの6か月分である。

平成25年度以降の事業と課題

1 企画展等

(1) 平成25年度

- 長野県埋蔵文化財センター速報展・30周年記念展
3月16(土)～6月2日(日)
平成24年に発掘された埋蔵文化財を展示するとともに、県埋蔵文化財センターの設立30年の成果をふりかえる。
- 夏季企画展「信州の野球史」
6月29日(土)～8月18日(日)
明治・大正・昭和と最強を誇った、信州野球の歴史をたどる。
- 秋季企画展「信濃の刃(やいば)」
9月14日(土)～11月4日(月・振替休日)
弥生時代から現代まで、信州を舞台とした「刀」等の「刃」を展示し、その歴史をたどる。
- 冬季展「信州の災害」
11月23日(土)～1月19日(日)
地震、洪水などの災害の実態と、そこからの復興をみつめ、これからの糧とする。
- 収蔵品(雛人形ほか)展
2月1日(土)～3月9日(日)
歴史館所蔵資料のうち、近年入手したものを中心に一同に展示する。
- 長野県遺跡速報展
3月21日(金・春分の日)～5月
県埋蔵文化財センターの発掘した資料に加え、県内で出土した遺物を一同に集め、発掘調査の成果を示す。

(2) 平成26年度以降

- 「戦乱VS信濃国一本能寺の変後、信濃戦国時代がはじまったー」
歴史館開館20周年記念として、信濃の戦国時代を扱った企画を検討中。
- 「発掘された木の世界」
弥生～近世の遺跡から出土した多様な木製品により、建物の復原など生活の様子を示す立体展示を検討中。

2 調査研究テーマ(中期的課題)

- 市河文書
- 満州移民
-
-
-

3 課題

- (1) 常設展示の近現代の体感展示の改善。特に、昭和30～40年代を中心とした高度経済成長期の人びとの生活がわかるよう体感展示として改善する。
- (2) 施設の老朽化。屋根の雨漏り、空調設備の更新、視聴覚機器・映像資料の更新など。
- (3) 歴史館運営の専門的力量をもつ人材の確保。

共通機能及び総合情報部門

考古資料、公文書・古文書の収集整理、調査研究を通して明らかになった長野県の歴史に関する情報を、展示を中心としたさまざまな方法により提供し、県民の歴史の理解の深まりに努めています。

1 常設展示 《テーマ：信濃の風土と人びとの暮らし》

「動くナウマンゾウ」「縄文のムラ」「中世の善光寺門前」「近世の農家」「近代の製糸工場」の実物大の復元展示で、その時代を体験できるようにするとともに、小テーマ展示を加え、これらを一巡することにより長野県の歴史がわかる仕組みになっています。小テーマ展示は、毎年10分の1前後を新しいものに更新しています。

- ・常設展示観覧者数・・・小中学生の占める割合が多いのが特徴です。(人)

項目	23年度	22年度	21年度
観覧者数	43,383	40,839	41,089
うち小中学生〔構成比%〕	18,587(42.8)	20,367(49.9)	19,182(46.7)

- ・展示解説・・・御希望に応じて可能な限り実施しています。特に歴史を学習する小学校6年生の見学では、学習に応じた解説を行い、きめ細やかな対応をしています。学芸員が全クラスの解説を実施している博物館は他にありません。

項目	23年度	22年度	21年度
解説実施学校数(校)	296	309	281
解説実施一般団体数(団体)	105	89	96

2 企画展及び季節展(平成21～23年度)

歴史に対する一般県民の関心の高まりに対して、時代のニーズにあわせた企画展等を開催しています。(人)

年度	季別	展覧会のタイトル	観覧者数
23	春	武士の家宝ーかたりつがれた御家の由緒ー	8,901
	夏企	激動を生きぬくー信濃武士市河氏の400年ー	4,731
	秋企	観光地の描き方ー浮世絵版画から観光パンフレットまでー	6,164
	冬	信州の歴史遺産Vー郷土のお宝『重文・県宝』を見よう	3,302
	冬	長野県の遺跡発掘2012	10,659
22	春企	ひめゆり 平和への祈り[沖繩戦から65年]	8,728
	夏	あの世への想いー日本人はどのように埋葬されてきたかー	2,552
	秋企	東の牛伏寺 西の若澤寺ー古代に創建された松本平の二つの寺院ー	8,272
	冬	信州の歴史遺産IVー文字のちからー	2,741
	冬	長野県の遺跡発掘2011	10,138
21	春企	善光寺信仰ー流転と遍歴の勸化ー	11,776
	春	長野県の遺跡発掘2009	4,334
	夏	信州 知の遺産の系譜	4,248
	秋企	山を越え川に沿うー信州弥生文化の確立ー	8,896
	冬	信州の歴史遺産IIIー諏訪地域の“いのり”と“まつり”ー	2,097
	冬	長野県の遺跡発掘2010	7,853

3 図書・史資料の調査、購入、閲覧・歴史情報の提供(平成21～23年度)

閲覧用の図書を整備し、県民の調べものや質問に対応しています。

利用状況	23年度	22年度	21年度
閲覧用図書数(冊)	107,308	103,577	101,730
閲覧室年間利用者数(人)	6,118	9,916	10,002
インターネット閲覧数(回)	40,637	92,124	82,114
レファレンス回数(回)	28	183	99

4 講演会等（平成23年度）

調査研究の成果をもとに、各種講座を開催しています。

ほとんどの講座を外部講師に依頼しないで、職員を講師とした運営を行っています。

・講演会、講座の開催状況と参加人員数

★印は外部講師

(人)

企画展・季節展にちなんだ講演会・講座・ギャラリートーク		
春季展	徳川家康と依田信蕃・松平康国－佐久・諏訪郡の戦国・織豊期－	180
	かたりつがれた武家の由緒	163
	家譜の編纂－武士が由緒を語るワケ－	28
	信濃戦国武士の活躍－依田信蕃・松平康国－	30
	お江の時代を生きぬいた武士－松平康真の一生－	61
	発掘された戦国時代	18
	芦田信濃、信濃へ帰る－家宝を伝えた武士の思い－	67
夏季企画展	市河文書と山本勘助	133
	信濃・越後の南北朝内乱－信濃川・千曲川流域のネットワーク－	140
秋季企画展	近代の観光と信州の温泉地	34
	浮世絵に描かれた信州の観光地－江戸から明治へ	5
	近代風景画の誕生－明治の水彩画と信州	7
	描かれた温泉－療養から観光へ－	15
	戦前の諏訪地域の観光地	2
	大正の浮世絵師たち－近代木版画の魅力－	8
	戦前の中信地方の観光地	8
信州の観光イメージ100年の歩み	13	
冬季展	謎を追え、明治の道づくり－図面は語る、馬車道・蚕糸・左側通行－	153
	世界に誇る日向林B遺跡を語る	50
	関東大震災における信州人のマンパワー	26
	院庁下文や大文字の旗からわかること	16
	田舎者のあこがれた緑釉陶器	5

やさしい信濃の歴史講座（開催年月日・テーマ）		
23. 11. 19	攻める武田、守る村上、謀る真田／蚕糸王国の御殿からみえるもの	79
23. 12. 10	ナウマンゾウと旧石器時代の人びと／松本城－最古の天守閣はどのようにつくったか	118
24. 01. 14	岩陰の縄文人の暮らしをさぐる／善光寺再建力－信仰・経営・宣伝	165
24. 01. 21	大室古墳を語る／発電する重要文化財「読書発電所」	132
24. 02. 04	縄文王国・信州の繁栄／蛇口をひねると水が出た－長野市往生地浄水場	122
24. 02. 18	オリンピックスタジアムの下は平安の大集落／明治人がバルコニー付きの学校をつくりたかったわけ	141
24. 03. 03	安楽寺八角三重塔から“信州の鎌倉”を探る／宿場そぞろ歩きのコッ－格子戸の向こうに江戸を見よう－	203
24. 03. 17	屋代遺跡に郡衙はあったか－古代のお役所－／姨捨の棚田と田毎の月－つくられた景観－	176

考古学講座「信州の3万年をたどる」（開催年月日・テーマ）		
23. 05. 21	3万年前の狩人－氷河時代の人びと－	54
23. 06. 18	発掘からみた中世の人びと－鍋・釜・銭そして－	52
23. 07. 16	狩猟採集の定住生活－縄文文化・森と川の恵み－	46
23. 09. 17	稲作と金属の時代へ－弥生時代の技術と社会－	46
23. 10. 22	遺跡探訪－上毛の遺跡・博物館	37
23. 11. 12	邪馬台国から古代国家へ－王墓の出現と終焉－	35

古文書講座（参加者数は延べ人数）		
初級	古文書の初歩 「古文書を学ぶ旅によろこそ」ほか全10回	277
中級	中世文書、近世文書を読む 「小川荘関係文書」ほか全10回	369
上級	上田原町問屋日記、真田家文書を読む ほか全5回	123
古文書探訪会		37

子ども（小・中学生等） 対象講座	石のアクセサリー（まが玉）づくり教室	2,376
	ゴールデンウィーク 体験教室	200
	夏休み 体験教室	129
	森將軍塚まつり 体験教室	205
	出前授業（千曲市東小学校）	92
出前講座	一般向け講座	2,047

・連携事業

(人)

事業名	連携先・共催者	参加人数
小和田哲男講演会①②	〔共催〕読売新聞社長野支局	545
森將軍塚古墳館企画展講演会	森將軍塚古墳館	72
「大人の遠足」事前学習会①②、現地見学会	八十二文化財団	188
長野県考古学シンポジウム	長野県考古学会	178
信州近世史セミナー	信濃史学会、近世史セミナー	88
歴史館セミナー	東京大学史料編纂所	90

・市町村等支援事業

(人)

事業名	共催者	参加人数
文化財保護研修会	長野県教育委員会・長野県文化財保護協会	93
博物館等関係職員研修会	長野県教育委員会・長野県博物館協議会	142
考古資料保存処理講習会		27
文献史料保存活用講習会	長野県史料保存活用連絡協議会	20

- ・ 刊行物 (H23) ブックレット、研究紀要 企画展図録 各1冊
- ・ (H22) ブックレット、研究紀要、企画展図録 各1冊
- ・ (H21) ブックレット、研究紀要、企画展図録 各1冊

5 調査研究

館蔵資料を中心に、長野県の歴史に関する調査研究を進め、その成果を展示や各種講座等に反映させるとともに、論文等をまとめた研究紀要を発刊しています。

(H22)研究報告4本・その他2本、(H21)研究報告3本・その他3本、(H20)研究報告4本・その他4本

考古資料部門

1 県所有遺物の整理・保存

(1) 整理作業 県内遺跡埋蔵文化財等の整理

長野県埋蔵文化財センターが発掘調査を終了し、移管された土器・石器等の遺物、写真・図面などの記録類を閲覧・貸し出し等が可能なように分類し、収納しています。

〔主な実績〕

項目	23年度	22年度	21年度
遺物（箱）	302	27	547
写真（カット）	265,540	4,051	7,364
遺物データ（件）	1,181	1,578	1,475

(2) 保存・分析作業 木製品の保存処理

木製品に機器を用いて樹脂を注入し、劣化をおさえ作業を実施しています。

項目	23年度	22年度	21年度
処理数（点）	3,802	4,504	3,945

X線透視装置や偏光顕微鏡、蛍光X線分析装置などを用いて館蔵遺物を分析しています。

項目	23年度	22年度	21年度
分析数（点）	29	16	42

2 遺物の貸出、写真の掲載

項目	23年度	22年度	21年度
遺物貸出（件）	413	148	87
写真掲載（件）	76	312	43

3 市町村への援助

保存処理機器の使用・技術提供

項目	23年度	22年度	21年度
分析数(点)	294	55	1,723

文献史料部門

1 長野県行政文書の収集・整理

県が作成あるいは収受した行政簿冊のうち、保存期限が切れた年平均約 1000 冊の移管を受けます。非公開部分を特定した上で簿冊の内容目録を作成し、文書検索機能を有する当館のホームページ上で公開し閲覧に供しています。移管された行政簿冊は燻蒸、金属除去、破損箇所の修復、成形を行い長期保存に適した状態で書庫に収納します。(冊)

項目	23年度	22年度	21年度	備考
収集	535	589	1,134	
整理公開	21,177	5,454	3,239	

2 文献史料(古文書)の収集・整理

当館では歴史的資料として重要な古文書の寄贈、寄託を随時受けつけています。収蔵された古文書は、目録を作成し、閲覧に供しています。保存のためには、燻蒸後に中性紙封筒・中性紙箱に収納し劣化を防いでいます。また市場に流出する長野県関連古文書の情報を収集し、必要に応じて購入するなど、散逸を防ぐ努力を行っています。(冊)

項目	23年度	21年度	21年度
収集	—	北澤家ほか2家文書	小平家ほか3家文書
整理公開	23,475	2,656	19,496

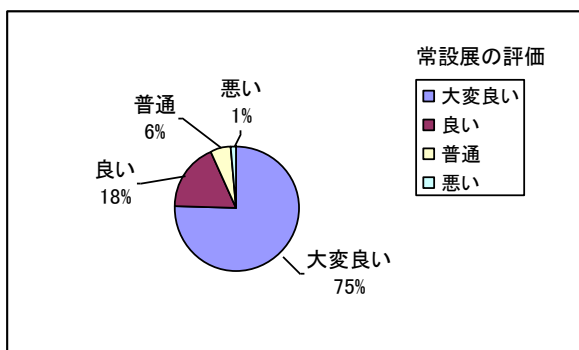
その他関連データ

・他県の博物館、文書館との比較(平成21年度)

館名	種別	展示室面積(m ²)	閲覧室面積(m ²)	収蔵庫面積(m ²)	利用者数(人)	解説実施学校数	解説実施団体数	学芸員実習	職員数(正職員)(人)		解説(案内)員(人)	総事業費(千円)	内訳(除く職員給与費)			開館年
									管理部門	学芸部門			博物館事業費	資料収集費	管理運営費	
長野県立歴史館	歴史博物館+公文書館	1,570	201	2,616	98,372	281校	96団体	10人、10日	3	19	無	165,548	50,089	4,956	110,503	H6
茨城県立歴史館	歴史博物館+公文書館	1,629	53	1,562	86,390	101校	62団体	22人、6日	7	27	13	240,976	72,030	27,852	141,094	S49
山梨県立博物館	歴史博物館+自然博物館	2,765	—	1,458	145,172	139校	—	7人、10日	6	16	18	360,156	72,414	18,706	269,036	H17
新潟県立歴史博物館	歴史博物館	3,540	—	1,570	71,461	126校	48団体	11人、10日	5	15	6	203,953	60,783	—	143,170	H12
新潟県立文書館	文書館	—	73	649	2,173	—	—	—	3	7	—	21,747(H22)	4,066	—	17,681	H4

・平成23年度 アンケート結果から(N=480)

常設展の評価



利用者の声

- ・県内にいながらこんなに素晴らしい施設があるとは知らなかった。もっと宣伝したら。(20代・30代・60代)
- ・規模が小さい。もっと信州の多様性をみせてもらいたい。(40代)
- ・復元や模型は素晴らしいが、それについての説明(パネル)がもう少し詳しいとわかりやすい。(30代)
- ・復元や体験展示は群を抜くが、知識のフォローアップが弱いのでは。(30代)
- ・歴史がすきになった。歴史のおもしろさが伝わってきた。(小学生・中学生)

平成24年度 新聞記事一覧 4～10月（10月18日現在）

社説・記事等の報道

当館の企画展示、講座等に関する報道は以下のとおりである。

月	掲載・掲示	タイトル	規格	備考
4月	信濃毎日新聞 信濃毎日新聞 信濃毎日新聞	県内22遺跡発掘成果の450点展示 満州移民名簿・消息を展示 社説 語り継ぐ工夫重ねたい「満蒙開拓」	記事 記事 記事	長野県埋蔵文化財センター速報展関連 春季企画展関連 春季企画展関連
5月	毎日新聞 信濃毎日新聞 週間長野 岡谷市民新聞 読売新聞 長野市民新聞	大日向の満州移民たどる 旧大日向村の歴史中心に 「長野県の満州移民」県立歴史館できょうから 野球ボール・エホム お持ちの方はいませんか 「満蒙開拓」語り継ごう 戦前の児童用野球ボール「M5」の情報提供を	記事 記事 記事 記事 記事 記事	春季企画展関連 春季企画展関連 春季企画展関連 平成25年度企画展関連 春季企画展関連 平成25年度企画展関連
6月	朝日新聞 米沢日報 長野市民新聞 信濃毎日新聞	満州での苦悩 大日向の教訓 直江兼統母は「蘭子」長野県で『幻の文書』発見 歴史館で満州移民展 「再入植」移民支えた修道会	記事 記事 記事 記事	春季企画展関連 尾崎家文書関連 春季企画展関連 春季企画展関連
7月	信濃毎日新聞 南信州新聞 信濃毎日新聞 長野市民新聞 週間長野	旧大日向村満州移民の資料 村職員が大切に保管 「長野県の満州移民 3つの大日向をたどる」上・下 「満蒙開拓」名簿 阿智へ 満州移民・満蒙開拓 歴史と記憶を後世に 戦時ポスターを展示 きょうから県立歴史館	記事 記事 記事 記事 記事	春季企画展関連 春季企画展関連 春季企画展関連 春季企画展関連 夏季展関連
8月	信濃毎日新聞 朝日新聞 信濃毎日新聞 読売新聞 中日新聞	3万3000人の証し 満蒙開拓団名簿 阿智へ1～5 戦争の真実の姿 ポスターに学ぶ 「戦争と宣伝」展 各地を巡回して 時代映す戦時ポスター展 漂う戦時下の空気	記事 記事 投稿記事 記事 記事	春季企画展関連 夏季展関連 夏季展関連 夏季展関連 夏季展関連
9月	長野日報 中日新聞 週間長野 NHK長野放送 信濃毎日新聞	美しく力強い土器の魅力 八ヶ岳や南信出土 縄文中期の土器展 きょうから縄文土器展 縄文土器展がはじまりました 八ヶ岳山ろくで出土 縄文土器一堂に展示	記事 記事 記事 TV放送 記事	秋季企画展関連 秋季企画展関連 秋季企画展関連 秋季企画展関連 秋季企画展関連
10月	読売新聞	「信濃史料」本文もDB化	記事	信濃史料